

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
(仮称)タツタEMセンター建設工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版) 201
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						4.1
Q1 室内環境			0.40			4.1
1 音環境		4.0	0.15			4.0
1.1 騒音		4.0	0.40			
1 室内騒音レベル	45dB以下	4.0	1.00			
2 騒音騒音対策						
1.2 遮音		4.2	0.40			
1 開口部遮音性能	開口遮音T-2	5.0	0.60			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音	床、天井に吸音材を使用	4.0	0.20			
2 温熱環境		4.0	0.35			4.0
2.1 室温制御		3.8	0.50			
1 室温		3.0	0.38			
2 室温変動・温度制御性						
3 外皮性能	室内への熱の侵入に対して、十分に配慮している	5.0	0.25			
4 ゾーン別制御性	ゾーン別空調が可能	4.0	0.38			
5 湿気・湿度制御						
6 湿度制御						
7 湿度外空調に対する配慮						
8 監視システム						
2.2 湿度制御		3.0	0.20			
2.3 空調方式	天井輻射冷暖房方式の採用	5.0	0.30			
3 光・視環境		3.7	0.25			3.7
3.1 屋光利用		3.4	0.30			
1 屋光率		3.0	0.60			
2 方位別開口						
3 屋光利用設備	グラデーションブラインドの採用	4.0	0.40			
3.2 グレア対策		5.0	0.30			
1 照明器具のグレア						
2 屋光制御	グラデーションブラインドの採用	5.0	1.00			
3 障材遮光対策						
3.3 照度		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 空気質環境		4.6	0.25			4.6
4.1 発生源対策		5.0	0.50			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆及び低VOC材料の採用	5.0	1.00			
2 化学汚染対策						
3 化学汚染対策						
4 化学汚染対策						
4.2 換気		3.6	0.30			
1 換気量		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	空気取入れ口は汚染源のない方位に設置	5.0	0.33			
4 経気対策						
4.3 運用管理		5.0	0.20			
1 CO ₂ の監視	CO ₂ 監視システムの採用	5.0	0.50			
2 喫煙の制御	喫煙場所の確保	5.0	0.50			
Q2 サービス性能			0.30			4.1
1 機能性		3.9	0.40			3.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性		3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応	OAフロア採用、40VA/m ²	4.0	0.33			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30			
1 広さ感・景観	事務所の天井高さ2700	4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース	喫煙場所、リフレッシュコーナー、自販機の設置	5.0	0.33			
3 内装計画	内装計画の検証の実施	5.0	0.33			
1.3 維持管理		4.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性材料の採用	4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保	清掃用流しや清掃器具の設置	4.0	0.50			
3 衛生管理業務						
2 耐用性・信頼性		4.4	0.31			4.4
2.1 耐震・免震		5.0	0.48			
1 耐震性	50%増の耐震性	5.0	0.80			
2 免震・制振性能	免震装置の採用	5.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.33			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	更新間隔11年以上	4.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ステンレスダクトの採用	4.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上にOを採用	4.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔	16年以上	4.0	0.23			

2.4 信頼性			4.6	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備	重要度系統の優先化	5.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	配管系統の区分化	5.0	0.20	-	-	-
3	電気設備	浸水の危険性がない	5.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	通信手段の多様化	5.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.9	0.29	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比0.1以下	4.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-	-
3.3 設備の更新性			4.2	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性	天井内スペースの確保	4.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく更新可能	4.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性	構造・仕上り部材を痛めることなく更新可能	5.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性	仕上り部材を痛めることなく更新可能	5.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性	メカニカルバルコニーによる更新が可能	5.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.1
1 生物環境の保全と創出		緑地の確保、自然林の保全	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺のまちなみに配慮している	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30	-	-	4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	屋根付き歩廊、水盤等による中間領域	4.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	緑地率55%	5.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	0.40	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建築物の熱負荷抑制		PAL値=246.4MJ/年㎡	4.1	0.30	-	-	4.1
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	クールビットの採用	4.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電システムの採用	4.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		ERR値=34.6%	4.9	0.30	-	-	4.9
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	ERR=34.6%	4.9	-	-	-
		集合住宅の評価	4.0	-	-	-	-
4 効率的運用			4.0	0.20	-	-	4.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制	年間エネルギー消費量の目標値の設定	5.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ及び節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.63	-	-	3.5
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ブロック	3.0	0.21	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	再利用ユニット部材の採用	5.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22	-	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	対象物質を含有しない材料の採用	5.0	0.32	-	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0の発泡断熱材の採用	5.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		換算スコア=4.0	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			4.1	0.33	-	-	4.1
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善	風下への風通しに配慮	4.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制	駐車場の適切な確保	5.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.3	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	0.70	-	-	-
3	日照阻害の抑制	1ランク上の日影規制を満たしている	4.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			5.0	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	-
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	熱線吸収ガラスの採用	5.0	0.30	-	-	-